

スワトンカンパニー設立のための活動・実施計画（案）

加賀市立片山津中学校

1. 実施計画に至るまでの経緯

本校の学校経営ビジョンでは、中学校時代を、将来夢をかなえるための準備期間、いわゆる「夢を持ち、夢を追いかける時代」と捉えている。本校の「夢授業」はそれを具現化するテーマである。令和4年度からは損保保険プランナーによる「ライフプランニング」授業にも取り組んできた。その学びを深化させるために今年度は、『SwCo.（スワトンカンパニー）』（生徒による会社起業と経営の体験）を設立する。

2. 活動内容

(1) 対象者 3年生を中心とした全校生徒参加（206名）

(2) 教科 総合的な学習の時間、特別活動

(3) ねらい

生徒が課題意識をもって学校や地域、そして未来（将来）を見据え、自分たちのために会社を起業し経営する体験を通して、生徒の主体的、協働的、創造的な力を培う機会・場面として位置づける。

(4) 活動の特色

本校では、特別活動においてキャリア形成のための「夢授業」を、そして総合的な学習の時間において、『片山津地区の未来を見つめ、「住みよいまちづくり」に主体的に参画し、持続可能な社会の創り手となり得る（まちづくり）』を探究課題として実施している。この探究課題を解決する最適な方法として、STEAM教育の特徴である「実社会の課題解決」と「協働的プロジェクト学習」という特性を生かし、有効かつ効果的に解決の糸口を見いだすことができるように進めている。さらにその学びを深めるために、単に机上の空論で終わらせるのではなく、ものづくりやデジタル作品など現実のものとしてアウトプットし、プレゼンテーションまで行うことで、「まちづくり」という探究課題の解決を果たしてきた。その探究の学びをより自分事として捉え、より発展的に生徒の夢と自己実現を果たし、そしてキャリア形成をも併せて図ることができる活動として、『SwCo.（スワトンカンパニー）』を設立し実施するに至った。生徒自身が課題解決意識をもって「やってみたい」、「人の役に立つ」会社を目指して起業・経営することで、自身のやりがいや達成感、そして働く楽しみを味わいながら、将来的に社会貢献ができる人間として、中学校以降の進路や就職についての価値観や就労観の育成を図ることができるよう取り組んでいく。

また、本校の学校研究の取組みの柱であるPBS（ポジティブな行動支援）は、生徒の会社起業・経営体験においてもとても重要であり、教師集団は研修を深め、この共通理解、共通実践を図るよう心がけ、日頃より常に生徒たちのよき伴走者であるよう自覚し努めている。授業は勿論の事、『SwCo.（スワトンカンパニー）』の取組みである会社の起業や経営に当たっても、生徒たちのよき

プランナーとして、肯定的に受け止め、実現可能な取組となるように共に考え、生徒の良いところを引き出し、認め、励ます姿勢、そしてファシリテートに心がけるように努めている。

(5) 活動の時期及び内容

年間を通して活動するが、活動の中心となる「スワトンタイム」は月1回、又は2か月に1回の予定をしている。活動の内容として、今までの学習から学んだことや、課題としてあがってきたことを解決するために、「生徒がやってみ」、「人の役に立つ」、「地域の課題解決になる」会社を設立する。会社設立に当たっては、今年度は生徒会主体とするが、将来的には、事務局を設置し、事務局員も公募して運営自体を生徒たちに委ねていく。カンパニーのジャンルは『steam』（STEAM教育とは異なる）それぞれs（Science）、t（Technology）、e（Entertainment）、a（Liberal Arts）、m（Minna）の5つのカテゴリーに振り分けることとする。（以下はカテゴリーの内訳である。）

○s（Science）は、「海洋ごみアート、エコバック、リユース、食べ物など」

○t（Technology）は、「野菜、花の苗づくり、花壇整備など」

○e（Entertainment）は、「演劇、獅子舞、地域の伝承芸能、プログラミングによるゲーム大会など」

○a（Liberal Arts）は、「絵画、動画、音楽、アニメなど」

○m（Minna）は、「カフェテリア、地域清掃、保育園交流、地域・施設等交流、挨拶運動、学習塾など」

これはあくまでも想定であり、生徒の思いやアイデアで多種多様な企業の設立が考えられる。会社の活動に協力した生徒には、1回の参加につき、報酬として、「100SWATON」を渡す。これは、校内で使える通貨であり、文化祭のバザーやカフェテリアで使用することができる。働いたら（活動に参加したら）その見返りとして報酬が支払われることは、経済活動の理解につながるし、働く事（活動）へのモチベーションの向上にもつながる。起業に当たっては、「起業に必要なこと」として、銀行の担当者による講話を計画しており、損保保険プランナーによるライフプランニングと合わせて、キャリア実現のために現実的な部分（金銭面）にも十分触れさせ、自己実現をより鮮明にイメージできるようにさせたい。

3. 期待される成果

S w C o.（スワトンカンパニー）は、生徒一人一人の夢実現と自己実現を叶える一つの方法として計画された、「生徒による会社の起業、経営体験」である。生徒が総合的な学習の時間で探究課題の解決に取り組んできたことを振り返り、学校や地域、そして自身の未来をより現実のものとして捉え、さらに高い課題意識をもって自分たちのQOLの向上と、社会貢献を目的に会社を起業し経営することが目的である。

この取組みは、生徒の主体的、協働的、創造的な力を培う効果的な場面として位置づけられており、生徒が課題意識をもって「やってみたい」「人の役に立つ」会社を目指して経営し、自分たちが生産したものを交換する市場を作ることで、経済活動の仕組みを体験的に学ぶことが可能となる。それはやりがいや達成感、そして働く楽しみを味わうことにつながり、しいては自分自身で何かを成し遂げることができるという自信につながることになる。また、失敗や課題を乗り越えることで、自分自身の能力や可能性について新たな発見をすることができ、チャレンジ精神の涵養や、自己肯

定感、自己有用感、協働性を高め、持続可能な社会の創り手として自ら課題を求め、解決することができる生徒の育成が期待できる。最終的には、生徒一人一人が願う「なりたい自分」の具現化が図られ、将来的に社会貢献できる人間として、中学校以降のキャリア形成の基礎的部分の構築に寄与するものと考えられる。